

令和6年度 学校経営計画書

学校番号	8	学校名	静岡県立沼津特別支援学校	校長名	青木 暁乃
------	---	-----	--------------	-----	-------

1 目指す学校像

(1) 教育目標

**共に育てる 自立と輝き** ～子どもの能力を最大限伸ばし、個々のよりよい自立と輝きを支援する～

- ・学校、保護者、地域の方々と共に、さらに児童生徒同士、児童生徒が自分自身を、育て、成長すること
- ・児童生徒一人一人がそれぞれのステージでできることを増やしていくこと、人や社会との関わりが広がること
- ・自分の良いところを伸ばし、他者から認められ、自信をもって生きる姿、生きる力を高めること

(2) 目標具現化の柱

- ア 人権尊重の理念に基づいた、児童生徒が安全に安心して学習できる学校 (安 全)  
 イ 児童生徒のニーズに基づいた、キャリアを踏まえた指導及び支援ができる学校 (専 門)  
 ウ 地域や関係諸機関等との強いつながりに基づいた、共生社会を進める学校 (連 携)  
 エ アサーティブな関わりに基づいた、チームとしてやりがいを持つ学校 (チ ャーム)

2 本年度の取組 (重点目標はゴシック体で記載)

	取組目標	達成方法 (取組手段)	成果目標	担当部署
安 全	人権に配慮した指導の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「さん」付と挨拶の励行</li> <li>・児童生徒の「心」を見つめ、励まし、称賛し、対話する。</li> <li>・道徳の指導の充実</li> <li>・児童生徒に分かりやすく居心地の良い環境整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が、相手の人権を尊重した対応を日々心掛けている。</li> <li>・児童生徒自身や保護者が、児童生徒の人権が尊重されていると感じている。</li> <li>・校内が整理整頓されている。</li> </ul>	生徒指導課 総務課
	命を守る、体制整備と実践力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハットの迅速な共有と、再発防止策の検討</li> <li>・日頃の点検と声の掛け合いによるチェック機能の強化</li> <li>・訓練後の反省を踏まえた危機管理マニュアルの見直しと活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未然防止の観点から点検と対応が常に行われている。</li> <li>・職員と児童生徒は、発災、緊急時の対応を理解し、行動できる。</li> </ul>	体育課 保健給食課 防災防犯課 総務課
専 門	教育的ニーズの的確な把握とそれに応える自立活動の実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の教育支援計画に基づいた、6区分27項目からの内容の選定</li> <li>・「時間の指導」「全般で行う指導」における効果的な指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員が、児童生徒の自立活動の目標と、今持っている力や得意なことを生かした達成方法を、保護者に丁寧に伝えている。</li> </ul>	自立活動課
	つながりのある支援と指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間学習指導計画を12年間のつながりの観点から整理する。</li> <li>・対話と深い学びのためのICT活用指導の実施</li> <li>・各教科等を合わせた指導の充実</li> <li>・児童生徒が願いを抱き、夢中で取組み、輝きを見せる授業実践</li> <li>・研修履歴記録シートを活用した個人研修の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その時期にその授業を行う意義について、職員が語り合い、保護者に伝えている。(お便りも含む)</li> <li>・授業で、一人一台端末が活用されている。</li> <li>・児童生徒が、遊びの指導、生活単元学習、作業学習を楽しみにし、願いを叶えようと夢中で取り組んでいる。</li> <li>・職員が、学んできたことをもとに次の学びを描き取り組んでいる。</li> </ul>	教務課 研修課 情報教育課
連 携	自立と輝きに向けた協働の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会による学校応援体制の周知と充実</li> <li>・適切な時期、必要な参加者による、ケース会議の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員と保護者が、学校運営協議会からの具体的な支援を理解している。</li> <li>・ケース会議後今後の方針と役割分担が明確になり実践されている。</li> </ul>	地域連携課 進路指導課
	つながりの精選と地域への貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種交流や地域との関わりの価値を、共生社会の推進という観点から共通理解する。</li> <li>・得意な学び方の発信による共同学習の充実</li> <li>・積極的に計画的な広報、発信</li> <li>・コロナ禍で休止したつながりの再開</li> <li>・豊かな地域資源の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校の様々な交流や活動が、インクルーシブの推進につながっていることを、職員が説明できる。</li> <li>・交流籍校交流の活動に、打合せで伝えた児童生徒の「得意な学び方」が生かされている。</li> <li>・地域貢献や地域資源を活用した学習に、児童生徒が意欲的に取り組んでいる。</li> </ul>	総務課 進路指導課 地域連携課
チ ーム	やりがいを持つ職場環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アサーション研修の共有と活用</li> <li>・全職員の協働によるウェルビーイングをめざした職場づくり</li> <li>・事務執行状況の情報共有と、円滑な業務遂行のための協働</li> <li>・職場環境改善への迅速な対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員が研修で学んだ内容をチーム力の維持向上に役立てている。</li> <li>・教職員の時間外勤務時間が上限を下回っている。</li> <li>・事務室への報告連絡相談が迅速に行われている。</li> <li>・職員が可能な範囲での改善がなされたと感じている。</li> </ul>	主任会 事務部 業務改善委員会